

岩倉市制50周年記念事業記録集



50th
Anniversary
岩倉市制50周年

IWAKURA
ANNIVERSARY



市民と共に歩んだ50年。絆を

目次 CONTENTS

市長あいさつ	2
岩倉市制50周年記念事業の基本構想	3
岩倉市制50周年記念事業紹介	4
岩倉市制50周年記念協賛事業・推進体制	20
岩倉市制50周年記念事業審査会	21
岩倉市制50周年記念事業の経過	22

市長あいさつ

2021年(令和3年)12月1日、岩倉市は市制50周年を迎えることができました。この記念すべき日に向け、祝賀機運を市全体で盛り上げようと様々な記念事業を計画・準備してまいりました。途中、新型コロナウイルス感染症の影響により当初の予定を変更しなければならないこともありましたが、創意と工夫を重ねることで、また、何よりも記念事業を楽しみにしていただいた皆様のご協力により、多くの人の心に残る数々の記念事業を実施し、記録集としてまとめることができました。心から感謝申し上げます。

「市民の夢 協(かな)えるプロジェクト」をはじめとして、多くの方からいただいたアイデアを実現していく中で、あらためて市民の皆様の岩倉愛を強く感じる事ができました。皆様の岩倉愛を新たな力に変え、先人たちのたゆまぬ努力により発展してきた岩倉市を、今度は市制100周年を目指して、守り、発展させ、皆さんと共に歩んでいきたいと思ひます。



岩倉市長 久保田 桂朗

深め、夢が大きく花開くまちへ

岩倉市制50周年記念事業の基本構想

基本理念

市制50周年という大きな節目を市民全体で祝うとともに、本市の礎を築いてきた先人たちのたゆまぬ努力、その功績を見つめ直し、あらためてこのまちを愛し、誇りに思う機会とする。そして、その思いを未来のいわくらを築いていく次世代につなげていくものとする。

基本方針

(1) シビックプライドの醸成

市制施行から半世紀という節目と年を契機として、これまでの「いわくら」の歴史を市民とともに振り返り、シビックプライド(市民の誇り・まちへの愛着)の醸成を図るとともに、新たなシビックプライドへとつながる取組を行う。

(2) 次世代につながる未来志向の取組

将来を担う子どもたちにとって、良き思い出として深く心に残り、輝く未来に夢を膨らませ、次の50年につながる新しい一歩となる取組を行う。

(3) シティプロモーションの推進

岩倉市の認知度や存在感がこれまで以上に高まるよう、本市の特徴を活かした記念事業の実施を通して、全市を挙げて市内外への情報発信の強化に向けた取組を行う。

事業期間

2021年1月1日(金)から2022年11月30日(水)まで

キャッチフレーズ

つながる 育む 花咲く 岩倉

公募による575点の作品から選考しました。人と人とのつながりは、何にも代え難いまちの財産であり、これからも地域の方々が互いにつながりを持ち、暮らしの中で笑顔に花咲きますように、そして地域で育まれた子どもたちが、輝かしい未来に花咲かせますように、という思いが込められています。

ロゴマーク



ブランドロゴを生かしたやさしいイメージのロゴマークを作成しました。

アイデア発掘カフェ

実施日 2019年6月15日

参加者数 21人

記念日の900日前にお祝いムードを盛り上げる魅力的なアイデアを「ワールドカフェ方式」で考えたワークショップ。リラックスした雰囲気の中、未来志向のアイデアを出し合いました。50周年にふさわしい魅力的なアイデアの数々から実際に多くの記念事業が実現しました。



記念ドライポロシャツ

実施日 2020年7月19日販売開始

ロゴ、キャッチフレーズをデザインしたドライポロシャツを作成。冬にはジップアップジャケットも作成しました。それぞれ3色ずつのラインナップで一般販売も行いました。毎月「0」と「5」が付く日は全庁的に服装を揃えて記念ムードを盛り上げました。



市民の夢 協えるプロジェクト(委託事業) オール岩倉産 『至極の卵かけごはん~いわくらTKG~』 プロジェクト

実施日 2021年4月24日~

石塚硝子株式会社ハウスウェアカンパニーによる岩倉産の素材・材料にこだわった「オール岩倉産『至極の卵かけごはん~いわくらTKG~』」をPRするメディア向け発表会を開催しました。いわくらTKGは市内飲食店でメニュー化され、「いわくら名産品」にも認定されました。



“夢”レター 未来への手紙

実施日 2021年2月4日募集開始

受付数 10年コース:524通/20年コース:89通

デジタルあふれる今こそアナログな手紙で10年後、20年後の大切な人へ、あるいはご自身へ、思いを伝えます。

専用ポストに投函された手紙は市で2031年、2041年までお預かりし宛先へ届けます。



いわくらしや水(すい)

実施日 2021年6月1日販売開始

製造本数 24,000本

ミネラル成分豊富な岩倉の地下水を汲み上げ、ラベルに「五条川」「山車」「い〜わくん」をデザインした500mlペットボトル飲料を製造・販売しました。

通常の飲料用のほか、災害備蓄用としても多くの方にお買い求めいただき、おかげさまで完売しました。



市民の夢 協えるプロジェクト(委託事業) 五条川かわまちプロジェクト ～ミズべの魅力発信～

実施日 2021年6月17日WEB公開

ミズベリング岩倉五条川による「かわ」と「まち」をつないで楽しくにぎわいのあるミズべ空間を創るプロジェクト。五条川の水辺を探索して見えてきたものをWEBページで公開したり、イベント等で展示したりして、五条川の魅力を広く市内外の人々に伝えました。



50周年記念事業 スタンプラリー

参加者数 約500人

「ギネス世界記録に挑戦」を皮切りに、「夏まつり市民盆おどり」「いわくらスポーツ体験フェスタ」「いわくら市民ふれ愛まつり」などの記念事業に参加してスタンプを5個以上集めた人に、記念品をプレゼントしました。



自然生態園行事 ミニビオトープづくり

実施日 2021年10月31日

参加者数 40人

自然生態園のとんぼ池に生息するメダカなどの水生生物で自分だけの小さなビオトープを作りました。みなさん出来上がった自分だけのビオトープを興味深く観察した後、楽しそうに自宅へ持ち帰っていました。



織田伊勢守信安没後 430年記念講演会

実施日 2021年11月14日

参加者数 57人

岩倉城主であり、夫妻墓が市指定史跡にも指定されている織田伊勢守信安の没後430年であることを記念して、城郭資料研究会代表の高田徹さんをお招きし、「尾張岩倉城と周辺の中世城館―地籍図・空中写真等から読み解く城館構造を中心に―」と題してご講演をいただきました。



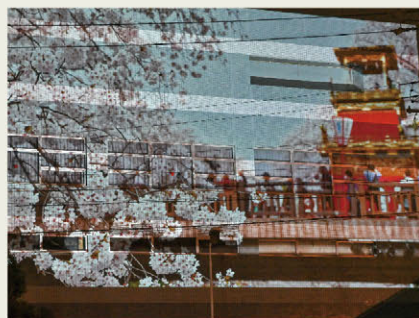
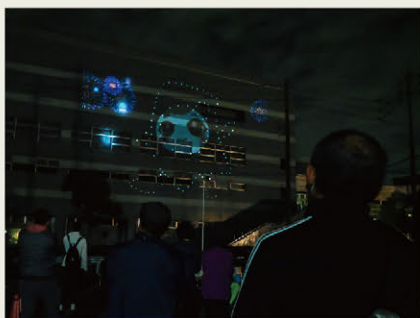
プロジェクトンマッピング 祝50周年 輝く未来へ打ち上げ花火

実施日 2021年11月6日

参加者数 1,800人

動画再生回数 2,195回

創立50周年を迎えた岩倉総合高等学校の協力のもと、総合体育文化センターの壁面にプロジェクトンマッピングによる打ち上げ花火が盛大に映し出され、いわくらの秋を鮮やかに彩りました。

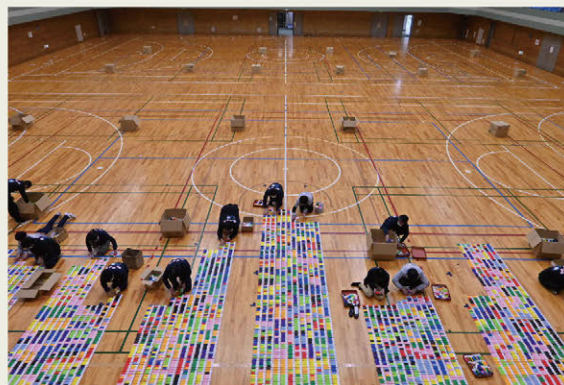


ギネス世界記録に挑戦

実施日 2021年11月23日

参加者数 5,000人以上

市制50周年の記念すべき年、「みんなで一緒に素敵な思い出を作りたい!」との思いから、「折り紙で作った『こいのぼり』の最多展示数」でのギネス世界記録認定にチャレンジしました。市内外から述べ5,000人以上の方にご参加いただき、折っていただいたこいのぼりの数は約24万枚!チャレンジ当日は集められた折り紙が市職員によって並べられ、公式認定員の審査を経て193,275枚で世界記録を達成することができました。



市制50周年記念式典

実施日 2021年12月1日

出席者数 171人

1971年12月1日に産声を上げた岩倉市にとって大きな節目となる50周年の日を盛大に祝う記念式典が挙行了されました。

市政の発展にご貢献をいただいた皆さんへの表彰、感謝状の贈呈をはじめ、市制50周年記念映像の上映、会場前ラウンジでの市制50周年記念事業の展示コーナー（いわくら名産品、岩倉市50年の歩みを振り返る写真パネル、いわくら写真えほんなど）など、節目にふさわしい式典となりました。



いわくら名産品開発・認定

新規開発 11品目

既存品の認定 16品目

「岩倉市を訪れた人がお土産として購入したくなる」、そんな名産品開発の支援に取り組み、市内事業者により創意工夫あふれる11品目が新たに誕生し、販売を開始しました。また、既存製品16品目についても名産品として認定しました。「手土産になる名産品」のイメージを伝える共通ロゴマークも作成しました。



市制50周年記念映像 発表

実施日 2021年12月1日

動画再生回数 7,393回

市民400人以上が参加し、満開の桜を背景にドローンを使って流れるように撮影しました。橋の上や堤防道路、川沿いの広場などで市民が思い思いに市制50周年をお祝いする様子は、まるで「パレード」のような仕上がりとなっております。令和3年度愛知県広報コンクール映像部門特選を受賞することができました。また、本市50年の歩みを写真とともに振り返る映像も併せて制作しました。



市民の夢 協えるプロジェクト(市実施事業) いわくら今昔WEB写真館

実施日 2021年12月1日公開

アクセス数 38,935件

岩倉市誕生以来、数多くのできごとを記録してきた写真を、インターネット上で閲覧できるようにまとめ、「いわくら今昔WEB写真館い〜glemap 岩倉変遷50年」として開館。皆さんからお寄せいただいた貴重な写真をはじめ300以上のできごと、約1,000点の写真が掲載され、記憶に残るなつかしの岩倉や、初めて知る新たな岩倉を見つけることができます。



市民の夢 協えるプロジェクト(市実施事業) いわくら写真えほん

実施日 2021年12月1日販売開始

販売数 139冊

市民の皆さんから投稿いただいた「笑顔の写真」[おすすめの場所の写真]を元に、読み聞かせにもぴったりの写真えほんが完成しました。岩倉市PR大使い〜わくんといっしょに、岩倉の素敵な場所を巡りながらみんなの笑顔を探そう散歩に出かける、楽しくって思わず本当にお出かけしたくなるようなストーリーになっています。この写真えほんは制作にあたって市民参加による編集委員会にて内容を検討しました。



市制50周年記念誌

実施日 2021年12月1日発行

岩倉市の魅力や伝統を市内外の人に知ってもらう資料となるように、また、50周年の節目を契機に岩倉市が有する自然・歴史・文化等の再認識を促し、市民憲章の啓発、さらには当市のさらなる発展の指針となる「第5次岩倉市総合計画」を反映した記念誌を作成しました。概要版については広報と同時に全戸配布しました。



スポーツ振興事業 「ダレデモダンス」

実施日 2021年12月5日

参加者数 182人

ダンス&ボーカルグループTRFのSAMさんがプロデュースした子どもから大人まで無理なく楽しめるダンス教室「ダレデモダンス」。講師のSAMさんから振り付けを教えてもらい、最後はTRFの楽曲に合わせて、みんなで踊りました。

老若男女幅広くご参加をいただき、みなさんがダンスを楽しみ、踊り終わると達成感から笑みがこぼれていました。



市民の花木「さくら」制定記念 記念植樹セレモニー及び苗木配布

実施日 2021年12月11日

配布数 50本

岩倉青年会議所と岩倉五条川桜並木保存会のメンバーからの政策提案をもとに実現した「市民の花木 さくら」制定を記念して、夢さくら公園で記念植樹とセレモニーが行われ、石名板の除幕がされると祝福の拍手が沸き起こりました。桜を大切に思う気持ちを育み、桜のまちとして発展していくことを願い、苗木の配布も行いました。



自然生態園行事 どんぐり工作 どんぐりの苗の配布

実施日 2021年12月12日

配布数 28本

自然生態園内の木の実やはっぱを拾って、自然の材料を使った自分だけの作品を作りました。参加者には市制50周年記念オリジナル缶バッジをプレゼントしました。また、園内に自生したどんぐり苗を配布しました。



いわくら市民健康マラソン ～ONLINE～

実施日 2022年3月4日から13日

参加者数 140人

市民の皆さんの健康増進とスポーツに取り組むきっかけづくりとして例年開催している健康マラソンを今回はオンラインで開催しました。GPSアプリを使用して期間内に10kmを完走した方に抽選でいわくら名産品がプレゼントされました。



いわくらdeマルシェ

実施日 2022年3月13日

参加者数 約1,500人

コロナ禍において、「市内のお店を応援しよう」をテーマに、雑貨やお惣菜のお店を始め、岩倉市に認定された「いわくら名産品」のお店など多くの店舗が出店しました。また、マルシェ恒例のミニSLの運行もあり、訪れた人たちは、思い思いにお店での買い物やミニSLを楽しみました。



体験型まちづくりゲーム ～いわくら50thのあゆみ～

実施日 2021年10月16日
2022年5月21日

参加人数 計135人

岩倉市50年の歩みが書かれたすごろくを進み、コマ回し、メンコ、ゴム飛び、おはじきなどの懐かしの遊びや、クイズなどさまざまなミニゲームに挑戦しながら親子でゴールを目指しました。歴代市長誕生のマスでは市長の似顔絵シールを貼ったり、公共施設の場所を調べて正しい場所にシールを貼ったりして、岩倉の歴史や地理を親子で楽しく学ぶ機会にもなりました。



岩倉市立体育館取り壊し メモリアル事業

実施日 2022年4月2日

参加者数 約800人

岩倉市誕生の際に市制施行記念式典が行われ、50年の歩みを見守ってきた市立体育館の取り壊しを前に、体育館への感謝を「己書（おのれしょ）」で表す「己書体験」や、世界記録を達成したこのほりを使った「このほり飾り」を作るワークショップ、市の歩みを写真でまとめたパネル展示などが行われました。会場入口には感謝の言葉を自由に書くスペースも設けられ、役目を終えようとしている市立体育館への感謝やお別れの言葉が書き綴られていました。



アダプトプログラムの日

実施日 2022年5月30日

参加者数 52人

五条川沿いの一斉清掃活動を行うとともに、50周年を祝うため、参加者にいわくらしや水を配布し、記念事業のPR、アダプトプログラム登録団体の活動例内容を発表しました。



大野市友好交流バス 越前おおの荒島の郷 満喫旅

実施日 2022年7月25日、8月2日

参加者数 63人

友好交流を続けている福井県大野市にオープンした道の駅「越前おおの 荒島の郷」に向けて2回に渡りカヤック体験のための友好交流バスを運行しました。最初は操作に戸惑っている人もいましたが、すぐに慣れて青い空と豊かな自然に囲まれたのどかな風景の中、スイスイとカヤックを漕ぎながらアウトドアを満喫していました。



市民の夢 協えるプロジェクト (市実施事業) 巨大プラレールで遊ぼう

実施日 2022年5月14日、15日

参加者数 963人

市民プラザ多目的ホールに、巨大なレイアウトが広がるプラレールの世界を実現しました。プラレールの世界に入り込んだ子どもたちはみんな目を輝かせて夢中になって遊んでいました。

「巨大レイアウトを作ろう!」のコーナーでは、岩倉駅を中心とした名鉄路線を再現。岩倉駅をはじめとするたくさんの駅が配置された線路上を、お気に入りの車両が颯爽と駆け抜けていました。



自然生態園行事 いちにち昆虫館

実施日 2022年7月30日

参加者数 89人

子どもたちがセミの声に負けじと元気いっぱい自然生態園のあちこちを探し回り、昆虫を捕まえました。トンボ、チョウ、カマキリ、セミ、バッタなど30種類以上の昆虫が集まり、図鑑で名前を確認してから、捕まえた人の名前付きで展示されました。



五条川親水事業 水辺まつり

実施日 2022年8月7日

参加者数 300人

夏の五条川で行われる「水辺まつり」は、岩倉の水辺を守る会により続いている大人気のイベントで、岩倉のシンボル五条川で、ふだんはできない川遊びを全力で楽しめると同時に、水や生き物にふれることで自然の大切さを知る機会にもなっています。水しぶきを浴びたり、ゆったり川の流れを楽しんだりしながら子どもたちが元気な笑顔を見せてくれました。



NHK公開番組 「ノージーのひらめき工作キャラバン」

実施日 2022年8月13日

参加者数 149人

NHKとの共催で、公開番組「ノージーのひらめき工作キャラバン」の収録が行われ、抽選で選ばれた親子連れが岩倉にちなんだいのほりやヨーヨーの工作にチャレンジしました。ノージーやシンアプーなどお馴染みのキャラが登場し、会場は子どもたちの笑顔と歓声にあふれていました。



市民の夢 協えるプロジェクト (市実施事業) 国際交流まつり

実施日 2022年8月6日

参加者数 184人

世界的ダンスアーティスト ケント・モリさんをお招きして開催されました。まずは個性的ながらもメッセージの込められた動きのダンスにみんなで挑戦。ケントさんにのせられるように、会場は瞬間にヒートアップ!ケントさんのソロパフォーマンスも披露され、盛り上がりは最高潮に達しました。続いては世界6か国をオンラインでつなぎ、子どもたちが同時にダンスを踊る、ケントさんとしても初めてのチャレンジ。会場は国境を越えて歓喜と一体感に包まれました。



夏まつり市民盆おどり& いわくらdeナイトマルシェ

実施日 2022年8月19日、21日

参加者数 約15,000人

みんなが待ちに待った盆おどり。コロナ禍でしばらく踊れなかったうっぴんを晴らすかのように、お馴染みの曲に合わせて大勢の人が輪になって踊りました。マルシェの開催やイルミネーションバージョンミニSLの運行のほか、岩倉総合高等学校が制作して下さったプロジェクションマッピングの打ち上げ花火が暑い夏の夜を盛り上げてくれました。



学校給食市民試食会

実施日 2022年9月29日、10月7日、13日、19日、25日

参加者数 72人

学校給食センター「ゆめミール」で、小中学生が実際に食べている給食を味わおうと企画されました。まず施設紹介の映像を視聴し、徹底した衛生管理や調理工程などについて学んだ後、お楽しみの給食を味わいました。9月から10月にかけて全部で5回開催され、今も昔も人気のソフト麺ミートソースなど、岩倉の給食を楽しんでいただきました。



市民プラザウィーク

実施日 2022年10月8日から16日

参加団体数 32団体

岩倉の市民活動の拠点となっている市民活動支援センターが入る市民プラザで、市民活動体験会、活動発表ステージ、ゲームde交流会、ワークショップなどの催しやパネル展示などが行われました。プラザ全体がお祭りムードに包まれ大いににぎわいを見せた9日間になりました。



いわくらスポーツ体験フェスタ

実施日 2022年10月2日

参加者数 355人

残念ながら中止となった岩倉市民体育祭の代替イベントとして、子どもからお年寄りまで誰もがスポーツに触れ合うきっかけづくりの場を作ろうと企画しました。

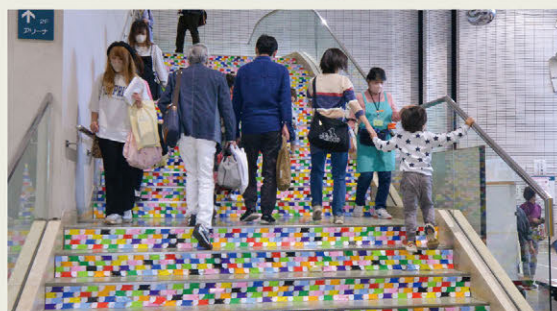
ポッチャ、カローリング、ストラックアウトやキックターゲットなど、初めて体験するスポーツに最初はとまどいながらも、少しコツをつかむと上手に出来る人もいて、スタッフを驚かせていました。



世界一の折り紙「こいのぼり」 で作ったアート作品の展示

実施日 2022年11月1日～

名古屋芸術大学協力のもと、ギネス世界記録挑戦の際に使用したこいのぼりを活用し、こいのぼりのトンネル、こいのぼりの大階段、空を泳ぐこいのぼり、の3つのアート作品を総合体育文化センターにて展示しました。こいのぼりのトンネルは中をくぐることができ、多くの子どもたちに遊んでもらうことができました。



市民の夢 協えるプロジェクト (委託事業) おしごと体験in岩倉

実施日 2022年10月23日

参加者数 115人

市内の小学生を対象に市内事業所によるお仕事体験を通じて仕事への興味を生み出すとともに、保護者の市内事業所の認知につながるイベントとして実施しました。体験ブースは金属加工、自動車整備、整体師、水道整備、薬剤師、手芸、カフェ店員、パティシエ、庭師、警察官、消防士、市役所の12種類。約120人の子どもが貴重な体験をしました。



岩倉市民文化祭

実施日

2021年11月6日から7日
2022年11月3日から6日

来場者数

計7,284人

写真や絵画、書、生花、盆栽など見事な作品の数々を鑑賞する人たちが賑わいを見せていました。美術展では「市制50周年記念賞」が設けられ、記念の年に華を添えました。



岩倉市文化講演会

実施日

2022年11月20日

参加者数

360人

世界的な演出家の宮本亞門さんを講師にお迎えして、総合体育文化センターで開催されました。「違うから面白い、違わないから素晴らしい」と題して自分自身の半生や、家族とのことを笑いあり、涙ありでご講演いただきました。世界を舞台に活躍する著名人の話を聞ける貴重な時間となりました。



いわくら市民ふれ愛まつり

実施日

2022年11月12日、13日

参加者数

約11,000人

7つのまつりが一堂に会し、市民同士が楽しくふれあう、秋の一大イベント。バザール会場には飲食や展示・即売、体験ブースなどが立ち並び、たくさんの笑顔とふれあいが会場を満たしました。新たに産業コーナーを設け、ステージイベントや様々なフェアもあまつりを大いに盛り上げてくれました。



岩倉市制50周年記念協賛事業

	時 期	実施主体	内 容
50周年アイスシルクマスク	2021年5月1日(土)から 2022年11月30日(水)	NPO法人いわくら 観光振興会	アイスシルクマスクに50周年記念ロゴをプリントして販売し、 市制50周年をPRしました。
岩倉市制50周年・郵政創業 150周年記念ラッピングポスト	2021年7月14日から 2022年3月31日	日本郵便株式会社	岩倉市制50周年記念ロゴマーク及びキャッチフレーズ、郵政創業 150周年のロゴマークをレイアウトしたリボン(シール)で、市内に 設置している郵便ポストをラッピングし、郵政創業150周年ととも に岩倉市制50周年記念をPRしました。
いわくるくるワークショップ ・テーマ「町内会」	2021年7月25日	地域のしあわせを 考える会	町内会について、日頃感じていることを語り合い、さまざまな年代、 立場からの意見を共有できる市民を対象としたワークショップを 開催しました。
岩倉市制50周年 アマチュア無線特別局運用	2021年 10月1日から12月5日	岩倉市制50周年 特別局運用実行委員会	アマチュア無線家が互いに交信し交流を図るという特質を生かし、 岩倉市が市制50周年を迎えたことを日本全国、海外にPRする とともに、特別なコールサインの無線局を設置して、より多くのPR と情報発信を行いました。
麦わらを使った「ストロー」作り	2021年10月18日から 2022年11月30日	Mugiストローライフ岩倉	麦を刈る作業及び麦ストロー作り体験のイベントを開催しており、 PRとして50周年記念事業の中で麦ストローを配布しました。
「おめでとう! 岩倉市制50周年」	2021年10月31日から 11月30日	株式会社ケイ・クリエイト	岩倉・北名古屋地域みっちゃく生活情報誌「くれよん」11月号にて 巻頭特集として「おめでとう! 岩倉市制50周年」を掲載しました。
市民ミュージカル 「ワンダーランドinいわくら アリスとサンタクロースの物語」	2021年 12月25日、26日	市民ミュージカル 実行委員会	出演キャスト、衣装、小道具制作など、さまざまなものを市民の手 づくりで作り上げてきた市民ミュージカル。 10回目となる今回は、これまでの集大成として「不思議の国のアリス」 「サンタクロース物語」の2部構成で上演されました。
第3回語り尽くそう! みんなの町内会	2022年2月5日	地域のしあわせを 考える会	町内会について、日頃感じていることを語り合い、さまざまな年代、 立場からの意見を共有できる市民を対象としたワークショップを 開催しました。

推進体制

岩倉市制50周年記念事業推進本部会議

記念事業の推進に当たり、庁内の推進体制を整備し、必要な情報共有等を行うため設置。
副市長、全部長をもって組織する。

岩倉市制50周年記念事業推進部会

市実施事業の推進に当たり、各課が実施する事業の企画及び検討に関し情報共有等を行うため設置。職員のうちから市長が任命する12人以内の委員をもって組織する。

	時 期
第1回	2020年1月22日
第2回	2020年7月10日
第3回	2020年8月17日
第4回	2020年10月16日
第5回	2020年12月16日
第6回	2021年2月5日
第7回	2021年4月8日
第8回	2021年5月28日
第9回	2021年8月5日
第10回	2021年10月14日
第11回	2021年12月20日
第12回	2022年12月21日

	時 期
第1回	2020年8月13日
第2回	2020年10月7日
第3回	2020年12月17日
第4回	2021年6月17日
第5回	2021年8月17日
第6回	2021年10月6日
第7回	2022年4月27日
第8回	2022年12月16日

岩倉市制50周年記念事業審査会

	時 期	内 容・審 議 事 項
第1回	2020年6月27日	・委員の委嘱 ・会長及び会長職務代理者の選出 ・岩倉市制50周年記念事業の概要、スケジュールについて
第2回	2020年9月29日	・市民の夢 協(かな)えるプロジェクト市実施コースの審査
第3回	2020年11月2日	・市民の夢 協(かな)えるプロジェクト市実施コースの審査 ・市民の夢 協(かな)えるプロジェクト委託事業コースの審査
第4回	2020年11月23日	・市民の夢 協(かな)えるプロジェクト市実施コースの審査 ・市民の夢 協(かな)えるプロジェクト委託事業コースの審査(公開プレゼンテーション)
第5回	2021年3月22日	・いわくら名産品開発事業の審査
第6回	2021年8月24日	・いわくら名産品認定事業の審査
第7回	2021年12月1日	・岩倉市制50周年記念事業の実施状況報告
第8回	2022年3月24日	・岩倉市制50周年記念事業の実施状況報告

委員名簿

四日市大学副学長	小林 慶太郎(会長)
名城大学社会連携センターアドバイザー	宮原 知沙
岩倉市教育委員会教育委員	松本 恵
NPO法人ローカルワイドウェブいわくら	岡本 里恵子
岩倉市副市長	小川 信彦(2021年3月31日まで) 柴田 義晴(2021年4月1日から)

岩倉市制50周年記念事業審査会条例 令和2年3月27日条例第1号

(趣旨)

第1条 この条例は、岩倉市制50周年記念事業の実施に当たり、公募した事業の審査等を行うための岩倉市制50周年記念事業審査会(以下「審査会」という。)の設置、組織及び運営に関する事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項の規定に基づく市長の附属機関として、審査会を置く。

(所掌事項)

第3条 審査会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1)市民の夢 協(かな)えるプロジェクトの審査等に関すること。
- (2)いわくら名産品開発事業の審査等に関すること。
- (3)その他岩倉市制50周年記念事業の実施に関し、市長が必要と認める事項(組織)

第4条 審査会は、委員5人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げるもののうちから市長が委嘱する。

- (1)識見を有する者
- (2)市民活動団体の代表者
- (3)市職員

(任期)

第5条 委員の任期は、第3条の事項が終了するまでとする。

(会長)

第6条 審査会に会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 会長は、会務を総理し、審査会を代表する。
- 3 会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、会長があらかじめ指名した委員がその職務を代理する。

(会議)

第7条 審査会の会議は、必要に応じて会長が招集する。

- 2 審査会の会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。
- 3 審査会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。
- 4 会長は、必要があると認めるときは、審査会の会議に委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 審査会の庶務は、総務部秘書企画課において処理する。

(雑則)

第9条 この条例に定めるもののほか、審査会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、令和2年4月1日から施行する。

(この条例の失効)

2 この条例は、令和4年3月31日限り、その効力を失う。

岩倉市制50周年記念事業の経過

時 期	取 組 内 容
2019年3月7日	・市制50周年記念日まで1,000日 ・市制50周年記念事業基本方針策定 ・市制50周年記念公式フェイスブック開設
2019年4月19日	・市制50周年記念事業ロゴマーク作成
2019年6月15日	・市制50周年記念日まで900日 ・アイデア発掘カフェ開催 ・市制50周年記念事業キャッチフレーズ募集開始
2019年9月23日	・市制50周年記念日まで800日 ・市制50周年記念事業キャッチフレーズ決定
2019年12月1日	・市制48周年式典においてキャッチフレーズ最優秀作品及び優秀作品に選ばれた方を表彰
2020年1月1日	・市制50周年記念日まで700日
2020年4月10日	・市制50周年記念日まで600日 ・市民の夢 協えるプロジェクト始動(事業概要発表)
2020年6月27日	・第1回岩倉市制50周年記念事業審査会
2020年7月19日	・市制50周年記念日まで500日 ・市民の夢 協えるプロジェクト市実施事業コース募集開始 ・記念ドライポロシャツ販売開始
2020年8月1日	・いわくら名産品開発アンケートを実施
2020年8月28日	・市制50周年記念パレードムービー参加者募集開始
2020年9月8日	・市民の夢 協えるプロジェクト委託事業コース募集開始
2020年9月29日	・第2回岩倉市制50周年記念事業審査会
2020年10月27日	・市制50周年記念日まで400日 ・いわくら名産品開発アンケート結果発表
2020年11月2日	・第3回岩倉市制50周年記念事業審査会
2020年11月23日	・第4回岩倉市制50周年記念事業審査会 ・市民の夢 協えるプロジェクト公開プレゼン審査を実施し、市実施事業4件、委託事業3件について採用を決定。
2020年12月1日	・市制50周年記念日まで1年 ・いわくら名産品開発事業エントリー事業所募集開始
2021年2月4日	・市制50周年記念日まで300日 ・“夢”レター 未来への手紙 募集開始
2021年3月22日	・第5回岩倉市制50周年記念事業審査会 ・いわくら名産品開発事業 11事業所・11品目を決定
2021年4月1日	・市制50周年記念協賛事業の募集開始
2021年4月24日	・市民の夢 協えるプロジェクト(委託事業) オール岩倉産『至極の卵かけごはん～いわくらTKG～』プロジェクト発表会開催
2021年5月1日	・いわくら名産品(既存品)募集開始
2021年5月15日	・市制50周年記念日まで200日
2021年6月1日	・いわくらしや水(すい)販売開始
2021年6月17日	・市民の夢 協えるプロジェクト(委託事業) 五条川かわまちプロジェクト ～ミズへの魅力発信～ WEBページ公開開始
2021年8月23日	・市制50周年記念日まで100日 ・ギネス世界記録挑戦への参加募集開始
2021年8月24日	・第6回岩倉市制50周年記念事業審査会 ・いわくら名産品(既存品) 16品目を認定
2021年9月1日	・50周年記念事業スタンプラリー開始

時 期	取 組 内 容
2021年10月16日	・体験型まちづくりゲーム ～いわくら50thのあゆみ～
2021年10月31日	・自然生態園行事 ミニビオトープづくり
2021年11月6日	・プロジェクトマッピング祝50周年 輝く未来へ打ち上げ花火
2021年11月6日から7日	・岩倉市民文化祭
2021年11月14日	・織田伊勢守信安没後430年記念講演会
2021年11月23日	・ギネス世界記録に挑戦
2021年11月30日	・健康マイレージ事業(アプリ導入利用促進)抽選会
2021年12月1日	・市制50周年記念式典
	・第7回岩倉市制50周年記念事業審査会
	・市制50周年記念映像 発表
	・市制50周年記念誌 発表
	・いわくら名産品 開発商品発表・販売開始
	・市民の夢 協えるプロジェクト(市実施事業)いわくら今昔WEB写真館公開
	・市民の夢 協えるプロジェクト(市実施事業)いわくら写真えほん 完成・販売開始
2021年12月5日	・スポーツ振興事業「ダレデモダンス」
	・市民の花木「さくら」制定記念記念植樹セレモニー及び苗木配布事業
2021年12月11日	・市民の花木「さくら」制定記念記念植樹セレモニー及び苗木配布事業
2021年12月12日	・自然生態園行事 どんぐり工作 どんぐりの苗の配布
2022年1月11日	・いわくらランチスタンプラリー9開始(3月11日まで)
2022年1月23日	・いわくら名産品 出張販売会
2022年3月4日から13日	・いわくら市民健康マラソン～ONLINE～
2022年3月13日	・いわくらdeマルシェ
2022年3月24日	・第8回岩倉市制50周年記念事業審査会
2022年4月2日	・岩倉市立体育館取り壊しメモリアル事業
2022年5月14日、15日	・市民の夢 協えるプロジェクト(市実施事業)巨大プラレールで遊ぼう
2022年5月21日	・体験型まちづくりゲーム II ～いわくら50thのあゆみ～
2022年5月30日	・アダプトプログラムの日
2022年7月25日、8月2日	・大野市友好交流バス 越前おおの荒島の郷 満喫旅
2022年7月30日	・自然生態園行事 いちにち昆虫館
2022年8月6日	・市民の夢 協えるプロジェクト(市実施事業)国際交流まつり
2022年8月7日	・五条川親水事業水辺まつり
2022年8月13日	・NHK公開番組「ノージーのひらめき工作キャラバン」
2022年8月19日、21日	・夏まつり市民盆おどり&いわくらdeナイトマルシェ
2022年9月29日から	・学校給食市民試食会(9月29日、10月7日、13日、19日、25日の全5回)
2022年10月2日	・いわくらスポーツ体験フェスタ
2022年10月8日から16日	・市民プラザウィーク
2022年10月23日	・市民の夢 協えるプロジェクト(委託事業)おしごと体験in岩倉
2022年11月1日	・世界一の折り紙「こいのぼり」で作ったアート作品の展示開始
2022年11月3日から6日	・岩倉市民文化祭
2022年11月12日、13日	・いわくら市民ふれ愛まつり
2022年11月20日	・岩倉市文化講演会

